

# ヨハネの黙示録

Bible Forum in KOBE



聖書フォーラム  
BIBLE FORUM

# ご利用方法について

格納場所：神戸元町聖書フォーラム

<http://seishoforum.net/>



# お願い！

このパワーポイント資料は  
**Clay クレイ聖書解説コレクション**  
と

**聖書講解メッセージ・シリーズ**  
**「ヨハネの黙示録」**

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の  
**電子版か紙版テキスト、無料配信動画、メッセージアウトライン**  
などと合わせて、**ご参照・ご活用下さい！**

# 1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

# 全体構造理解の大前提！ ディスペンセーションリズム

定義「ディスペンセーションとは  
神の計画が進展していく過程において出現する  
明確に区分可能な神の経綸（時代・時代区分）

(1) 聖書を字義通りに解釈。

(2) 「イスラエル」と「教会」を一貫して区別。

(3) 神がユダヤ民族とアブラハム契約を結ばれたこと。  
それが永遠の契約であることを認める。

(4) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」である。

※ 漸進的啓示の理解も重要！

時代区分	過去			④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	現在	未来
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~			⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア
1. エデン契約	【1】エデン契約						
聖書箇所	・創1:26~31・創2:16~17						
2. アダム契約	アダム契約【2】						
聖書箇所	・創3:14~19						
3. ノア契約	ノア契約【3】						
聖書箇所	・創9:1~17						
4. アブラハム契約	アブラハム契約【4】						
聖書箇所	・創12:1~3・創12:7・創13:14~17 ・創15:1~21・創17:1~21・創22:15~18						
5. モーセ契約	モーセ契約【5】						
聖書箇所	・出19:3~8・広くは出20:1~31:18						
6. 土地の契約	土地の契約【6:土地】						
聖書箇所	・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目						
7. ダビデ契約	ダビデ契約【7:子孫】						
聖書箇所	・IIサム7:11b~17(ソロモン強調) ・I歴17:10b~15(メシア強調)						
8. 新しい契約	新しい契約【8:祝福】						
聖書箇所	・エシ31:31~34						

以前の天と地は過去だった  
白い御座の慈き  
第二の復活と第二の死

黙21:1  
~22:5

新天新地

新しいエルサレム

神の栄光

時間を超越した  
永遠の秩序

エゼ28:13によれば  
サタンの反逆によって  
エデンの園は  
かつての栄光を失った。  
聖なる都エルサレムは  
その栄光を回復したもので  
本来のエデンの園以上の  
輝きを与えられている。

神のご計画の全貌

# Q1) 聖書の始まりとは？

# Q2) サタン墮落前と人類墮落前のエデンの園とは？

創1:1 創1:2

サタンの墮落(エゼ:28:11~19、イザ14:12~14)

人類の墮落

創1:3~27



初めに、神が天と地を創造した。

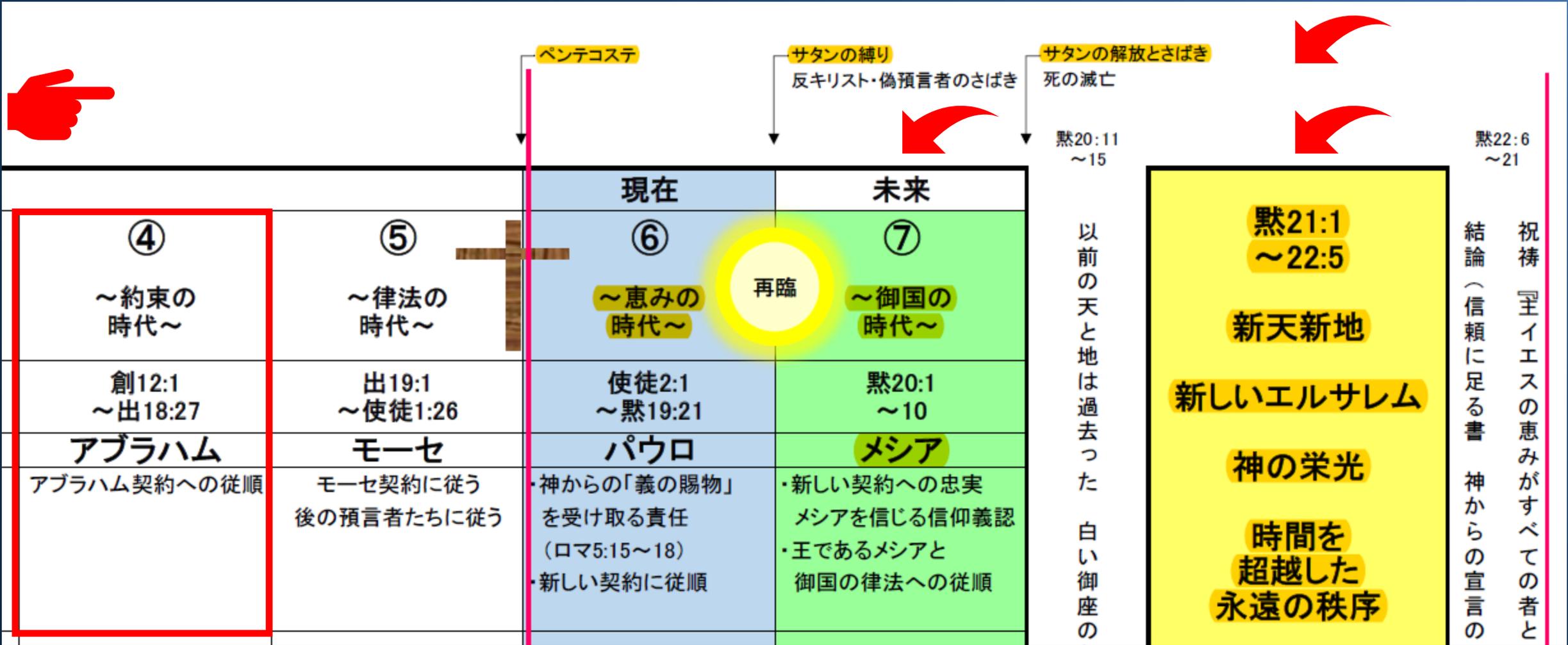
a 地は形なく、むなしく、やみが淵の

神は仰せられた。  
光があれ。」する

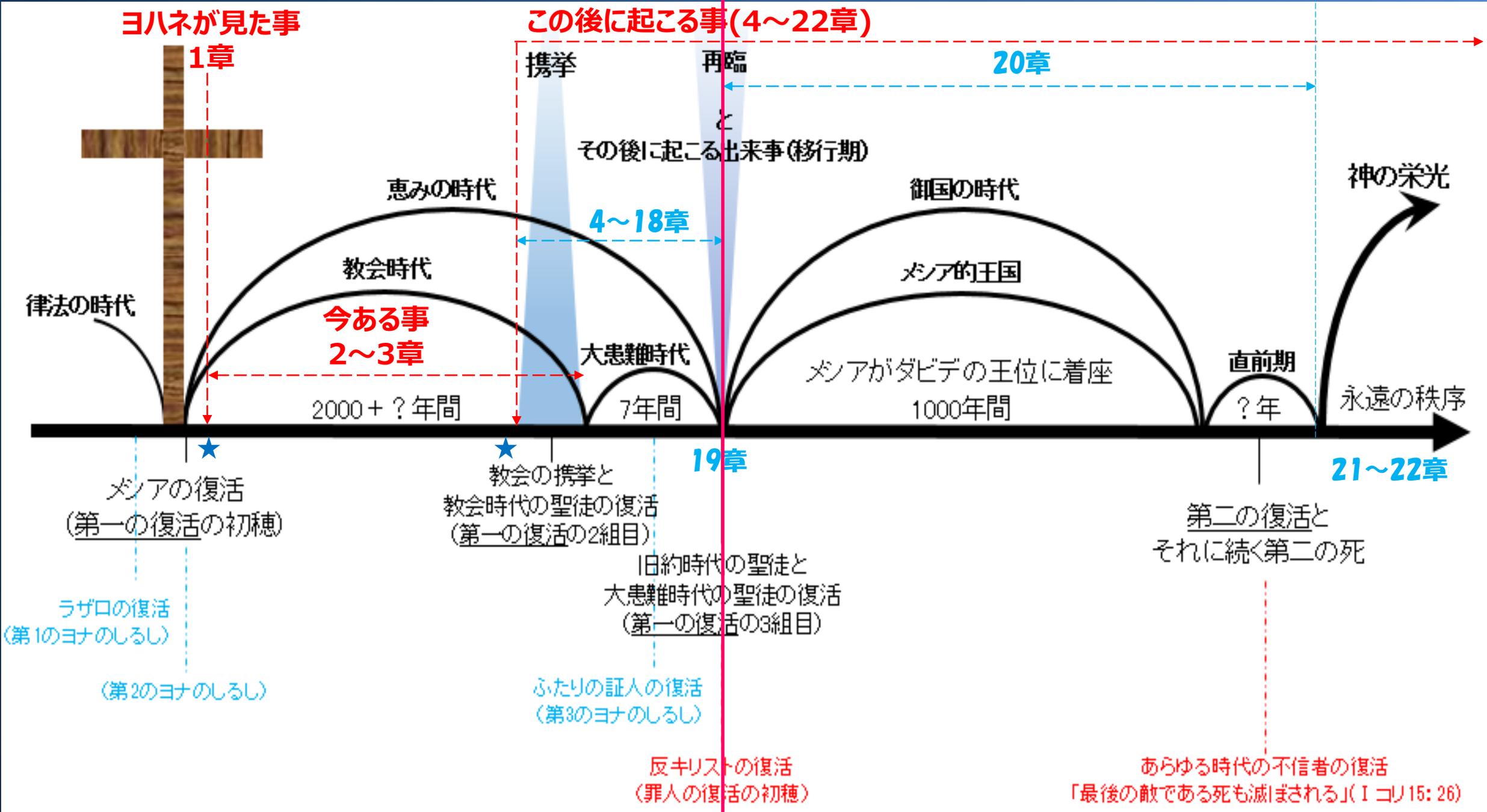
時代区分	過去			
	①	②	③	④
時代区分	~無垢の時代~	~良心の時代~	~人間による統治の時代~	~約束の時代~
聖書箇所	創1:28~3:8	創3:9~8:14	創8:15~11:32	創12:1~出18:27
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム
責任	エデン契約への従順	アダム契約への従順	ノア契約への従順	アブラハム契約への従順

# Q1) 聖書の終わりとは？

# Q2) 人類墮落前とサタン墮落前以上の回復とは？



# 終末論の全貌



# 目次の全体構造

序言「まえがき」(1:1~3) -----> **1:1「イエスキリストの黙示」**

あいさつ(1:4~8) -----> **1:7「黙示録のテーマ」**

★ I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> **1:19「黙示録のアウトライン」**

★ II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

★ III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

7章は挿入句 -----> (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

11:15~19のみ本文 -----> (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

他は巨大な挿入句 -----> (3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

巨大な挿入句 -----> (4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後が起こる出来事(19:1~20:3) -----> **クライマックスは再臨**

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5) -----> **ゴール (神の栄光)**

結論(22:6~21)

# 1章 ヨハネが見た事

～ 黙示録の要点 ～

イントロダクション

ヨハネによる前書き

ヨハネが見た事：栄光の主

# 黙示録の要点(1)

～ 3つの重要聖句 ～

# 1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

# 2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。」

# 3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。」

# 黙示録の要点(2)

～ 黙示録のテーマを理解する ～

～ 主の大いなる再臨の日を待つ ～

(1) 黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス**（黙1：7）

(2) 再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心**（ゼカリヤ12：10）

(3) 終末論の出来事の流れ

① **携拳**→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心

② **再臨**→千年王国

(4) 大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的  
霊的なもの**(再臨の阻止)**

(5) 執筆経緯

**「迫害の中にいる人々」と「教会全体」への励ましと矯正**

## (6)祝福の約束

「1 : 3 この予言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを**心に留める**人々は幸いである。時が近づいているからである。」

「22 : 7 見よ。わたしはすぐに来る。  
この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「**堅く守る**」とは、「**心に留め**見張っている状態」を言います。

テーマが再臨であることを理解し

主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

# 黙示録の要点(3)

～ 再臨の条件は、ユダヤ人の民族的回心 ～

～ 教会としての責務とは ～

# ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

## 1. 福音を伝える โรม1:16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。  
※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

## 2. 物質的な物を分かち合う โรม15:25~27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。  
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

## 3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62:1~2 ③イザ62:6~7 ④ロマ10:1

# 2～3章 地上の教会

～ 7つの教会の意味～

～ 3つの神学的意味～

# アジアにある7つの教会



## 7つの教会への手紙 (ヨハネの黙示録 2:1 ~ 3:22)

教会名	内容	キリスト描写	賞賛	叱責	奨励	約束
<b>エペソ</b> 意味：好ましい (黙 2:1-7) 使徒時代の教会の型 紀元 30年～100年頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・右手に七つの星を持つ方</li> <li>・七つの金の燭台の間を歩く方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行いと労苦と忍耐</li> <li>・悪い者たちを追放した</li> <li>・偽教師たちの教えを拒否した</li> <li>・ニコライ派の行いを憎んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めの愛から離れてしまった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこから落ちたかを思い出せ</li> <li>・悔い改めよ</li> <li>・初めの行いをせよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちの木の實を食べる</li> </ul>	
<b>スミルナ</b> 意味：没薬 (黙 2:8-11) 迫害時代の教会の型 1世紀～4世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めであり、終わりである方</li> <li>・死んで、また生きた方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しさや迫害に耐えている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦しみを恐れるな</li> <li>・死に至るまで忠実であれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちの冠が与えられる</li> <li>・第二の死によってそこなわれることはない</li> </ul>	
<b>ペルガモ</b> 意味：結婚した (黙 2:12-17) 国家教会時代の教会の型 4世紀～5世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋭い、両刃の剣を持つ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリストの名を堅く保っている</li> <li>・キリストに対する信仰を捨てなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラムの教えを奉じている人々がいる</li> <li>・ニコライ派の教えを奉じている人々がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悔い改めよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隠れたマナ（栄光のキリスト）が与えられる</li> <li>・新しい名が記された白い石が与えられる</li> </ul>	
<b>テアテラ</b> 意味：継続した権性 (黙 2:18-29) 暗黒時代の教会の型 6世紀～15世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃える炎のような目を持つ方</li> <li>・その足は光り輝くしんちゅうのような方</li> <li>・神の子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行い、愛、信仰、奉仕、忍耐</li> <li>・初めの行いにまさる行いをしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不品行と偶像礼拝を教える女イゼベルを容認した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悔い改めよ</li> <li>・正しい行いと教理を維持せよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸国の民を支配する権威が与えられる</li> <li>・明けの明星（キリスト）が与えられる</li> </ul>	
<b>サルデス</b> 意味：逃れる者 (黙 3:1-6) 宗教改革時代の教会の型 16世紀～17世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神の7つの御霊、および7つの星を持つ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい行い</li> <li>・生きているとの評判がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実は死んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目をさませ</li> <li>・死にかけているほかの人たちを力づけよ</li> <li>・聞いたことを思い出し、それを堅く守り、悔い改めよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白い衣を着せられる</li> <li>・父と天使たちの前で、キリストがその名を言い表す</li> </ul>	
<b>フィラデルフィア</b> 意味：兄弟愛 (黙 3:7-13) 大主教時代の教会の型 18世紀～19世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖なる方、真実なる方</li> <li>・ダビデのかぎを持っている方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よい行い</li> <li>・キリストのことばを守り、その名を否まなかった</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・試練の時（大患難時代）から守られる</li> <li>・神の聖所の柱とされ、神の御名、新しいエルサレムの御名、キリストの新しい名が記される</li> </ul>	
<b>ラオデキア</b> 意味：人々が支配する (黙 3:14-22) 爾後時代の教会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーメンである方</li> <li>・忠実で、真実な証人</li> <li>・神に造られたものの根源である方</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱くも冷たくもない</li> <li>・生ぬるいので口から吐き出す</li> <li>・みじめで、衰れで、盲目で、裸の者である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火で精錬された金をキリストから買え</li> <li>・裸の恥を隠さないために着る白い衣を買え</li> <li>・目に塗る目薬を買え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝利を得る者は、キリストと食事をする</li> <li>・キリストとともに統治する</li> </ul>	

# 教会時代

教会の携挙と復活の時期  
(第一の復活の二組目)

メノアの復活  
(第一の復活の初穂)

大患難

2000 + ? 年

この後起こる事  
(4~22章)

主の日

現代

今ある事: 教会時代  
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦 (17章)

1900~現代

✗7: ラオデキヤ 「人々が支配する」 「背信の教会」

6: フィラデルフィア 「大宣教時代の教会」 「兄弟愛」

5: サルテス 「逃れ出る」 「宗教改革時代の教会」

4: テアテラ 「継続した犠牲」 「暗黒時代」

3: ベルガモ 「結婚した」 「国家教会」

2: スルナ 「迫害時代の教会」 「没落」

1: エベソ 「好ましい」 「使徒時代の教会」

I あなたの見た事 (1章)

主の日: 主の栄光が輝きだした特別な日

100~313年

30~100年頃

81~98年

313~600年

600~1517年

1517~1648年

1648~1900年



# 4章 天の様子

～七つの封印を開く前の天の様子～

4章は、巻き物を紹介するための  
イントロダクション

4章

- 1. 御座についている方
- 2. 24人の長老
- 3. 7つの御霊
- 4. 四つの生き物

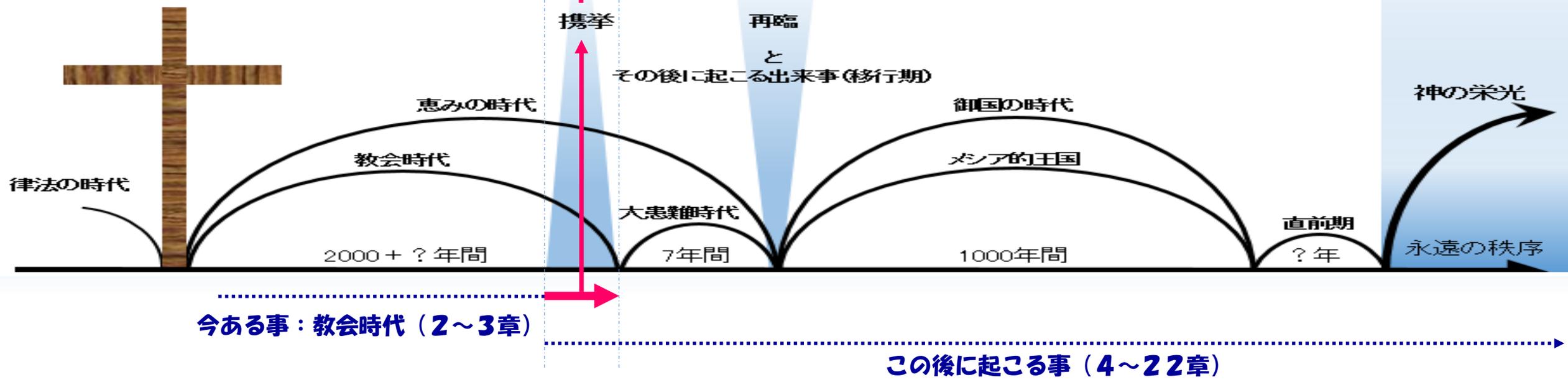


天での礼拝

\*ヨハネが見た様子、天の視点

大患難時代の前に天で起こる出来事 (4~5章)

地上の視点



今ある事: 教会時代 (2~3章)

この後に起こる事 (4~22章)

# 5章 天の様子

～七つの封印を開く前の天の様子～

～小羊と巻物～

**5章で、巻き物とキリストが登場する**

7つの封印で綴じられた巻物

4章

- 1. 御座についている方
- 2. 24人の長老
- 3. 7つの御霊
- 4. 四つの生き物

5章

- 5. ほふられたとみえる小羊  
ユダ族の獅子・ダビデの根
- 6. 多くの御使い
- 7. 被造世界の全無生物・生物

天のオーケストラ

天での礼拝

礼拝に参加

礼拝に参加

右の手から 受け取った

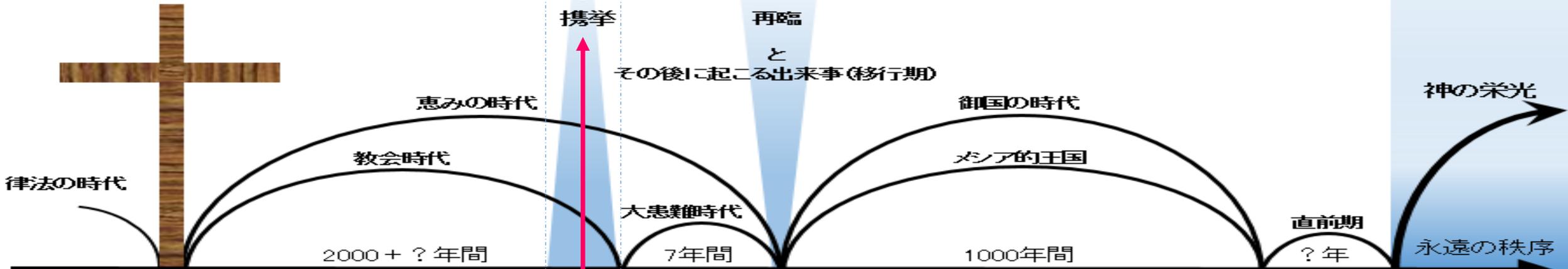
強い御使いの大声

ヨハネの涙

大患難時代の前に天で起こる出来事 (4~5章)

\*ヨハネが見た様子、天の視点

地上の視点



今ある事：教会時代 (2~3章)

この後に起こる事 (4~22章)

# 6章 封印の裁き

～大患難時代の前半に起こる出来事～

イントロ

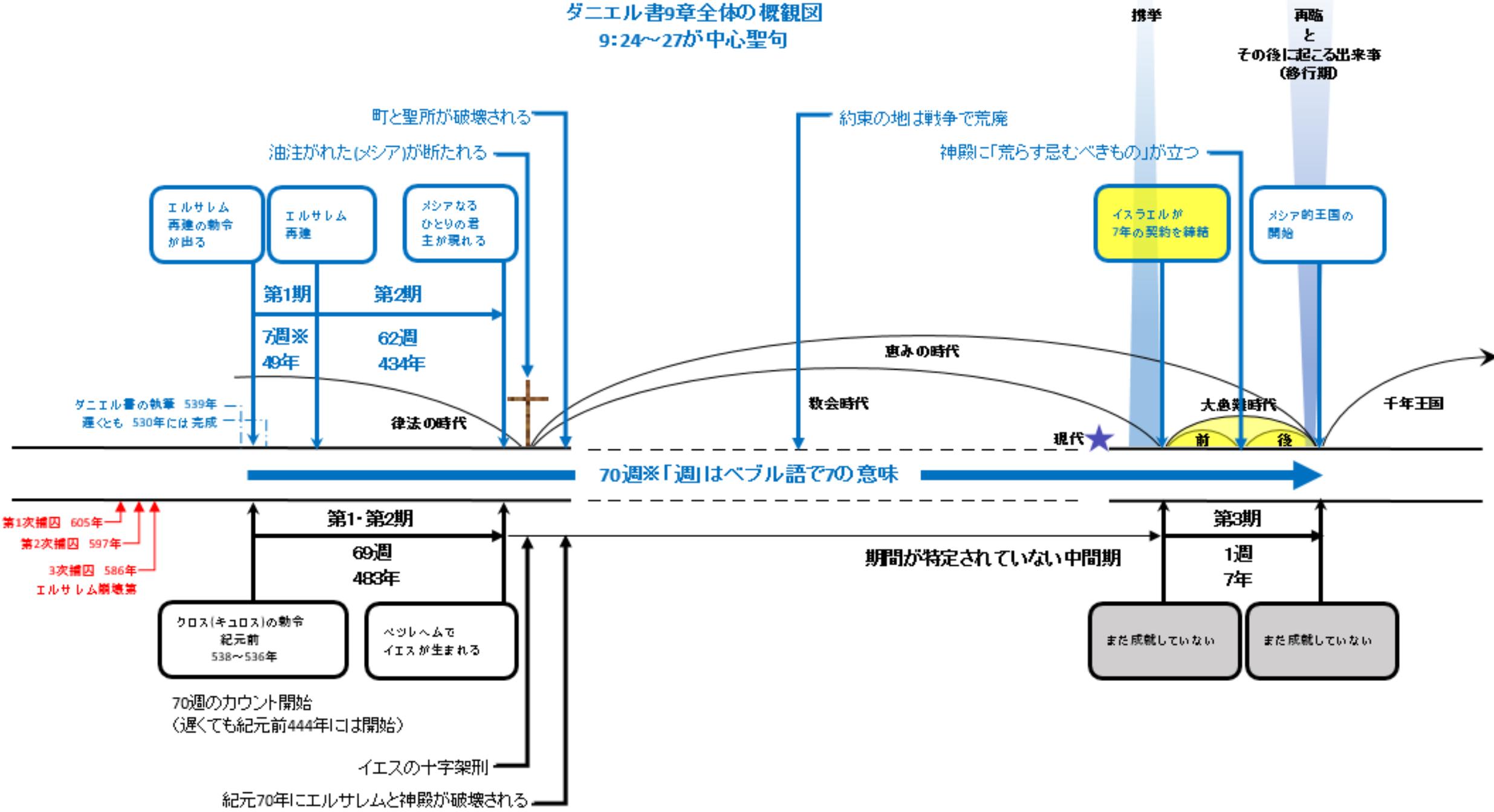
6章：封印の裁き

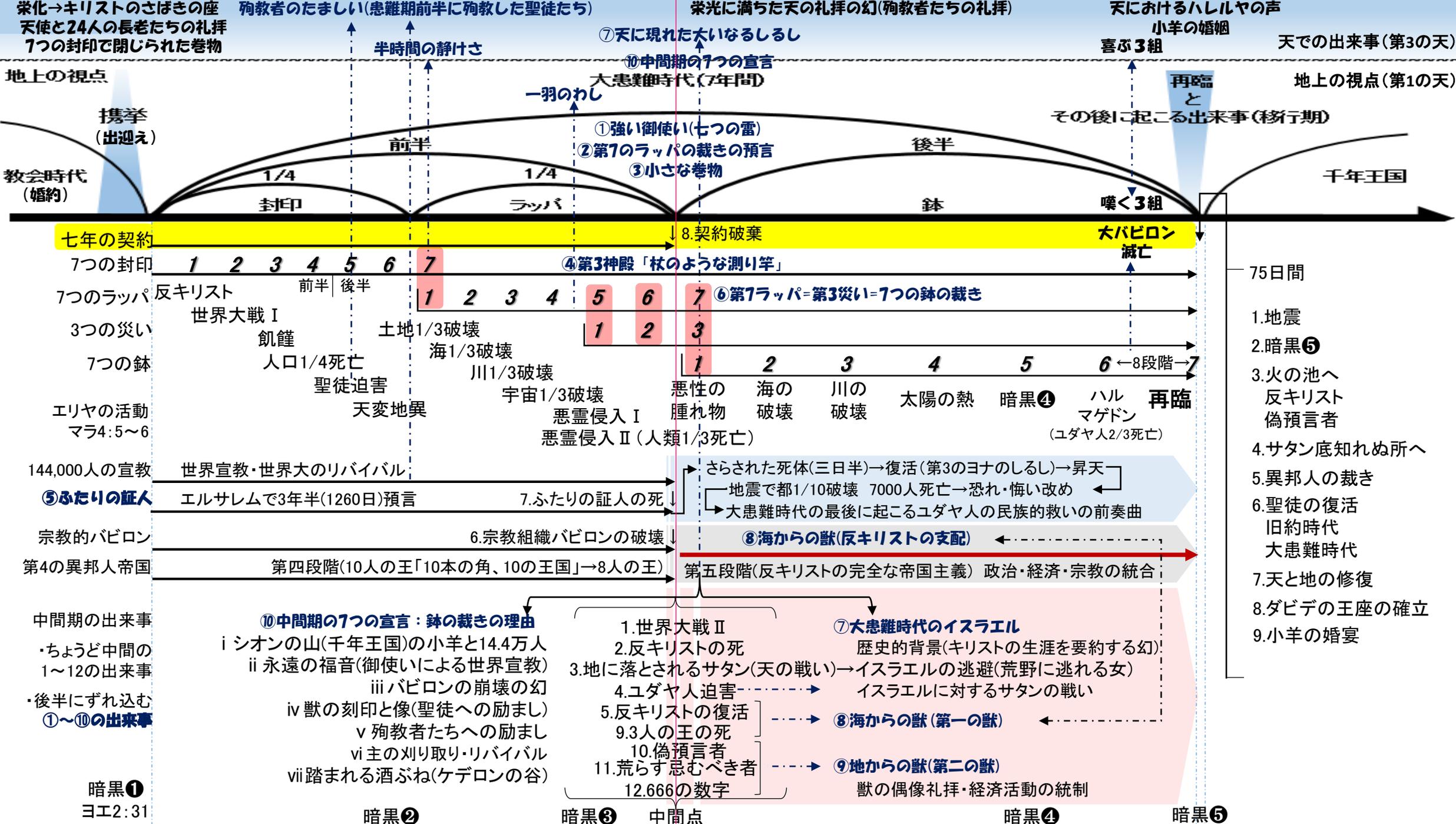
(前半3年半：前半1/4)

# イントロ

ダニエル書9章 70週の預言  
大患難時代の3つの目的

ダニエル書9章全体の概観図  
9:24~27が中心聖句





栄化→キリストのさばきの座  
天使と24人の長老たちの礼拝  
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難前半に殉教した聖徒たち)  
半時間の静けさ

栄光に満ちた天の礼拝の幻(殉教者たちの礼拝)  
⑦天に現れた大いなるしるし  
⑩中間期の7つの宣言  
大患難時代(7年間)

天におけるハレルヤの声  
小羊の婚約  
喜び3組  
天での出来事(第3の天)

地上の視点

携挙(出迎え)  
教会時代(婚約)

地上の視点(第1の天)

その後起こる出来事(移行期)

七年の契約  
7つの封印  
7つのラッパ  
3つの災い  
7つの鉢  
エリヤの活動  
マラ4:5~6  
144,000人の宣教  
⑤ふたりの証人  
宗教的バビロン  
第4の異邦人帝国

7つの封印: 1 2 3 4 5 6 7

7つのラッパ: 反キリスト 前半 後半 1 2 3 4 5 6 7

3つの災い: 世界大戦 I 飢饉 人口1/4死亡 土地1/3破壊 海1/3破壊 川1/3破壊 宇宙1/3破壊 悪霊侵入 I 悪霊侵入 II (人類1/3死亡)

7つの鉢: 1 2 3 4 5 6 7

エリヤの活動: 天変地異

144,000人の宣教: 世界宣教・世界大のリバイバル

⑤ふたりの証人: エルサレムで3年半(1260日)預言 7.ふたりの証人の死

宗教的バビロン: 6.宗教組織バビロンの破壊

第4の異邦人帝国: 第四段階(10人の王「10本の角、10の王国」→8人の王) 第五段階(反キリストの完全な帝国主義) 政治・経済・宗教の統合

8. 契約破棄

大バビロン滅亡

75日間

1.地震  
2.暗黒⑤  
3.火の池へ反キリスト偽預言者  
4.サタン底知れぬ所へ  
5.異邦人の裁き  
6.聖徒の復活 旧約時代 大患難時代  
7.天と地の修復  
8.ダビデの王座の確立  
9.小羊の婚宴

中間期の出来事  
・ちょうど中間の1~12の出来事  
・後半にずれ込む  
①~⑩の出来事

⑩中間期の7つの宣言: 鉢の裁きの理由  
i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人  
ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)  
iii バビロンの崩壊の幻  
iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)  
v 殉教者たちへの励まし  
vi 主の刈り取り・リバイバル  
vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

1.世界大戦 II  
2.反キリストの死  
3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)  
4.ユダヤ人迫害  
5.反キリストの復活  
9.3人の王の死  
10.偽預言者  
11.荒らす忌むべき者  
12.666の数字

⑦大患難時代のイスラエル  
歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)  
イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣(第一の獣)  
⑨地からの獣(第二の獣)  
獣の偶像礼拝・経済活動の統制

暗黒①  
ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③

中間点

暗黒④

暗黒⑤

# 大患難時代の3つの目的

## ① 邪悪を一掃

(イザヤ書13：9)

## ② 世界大のリバイバル

(黙示録7章 マタ24：14)

## ③ イスラエルの国家的な新生(再臨の条件)

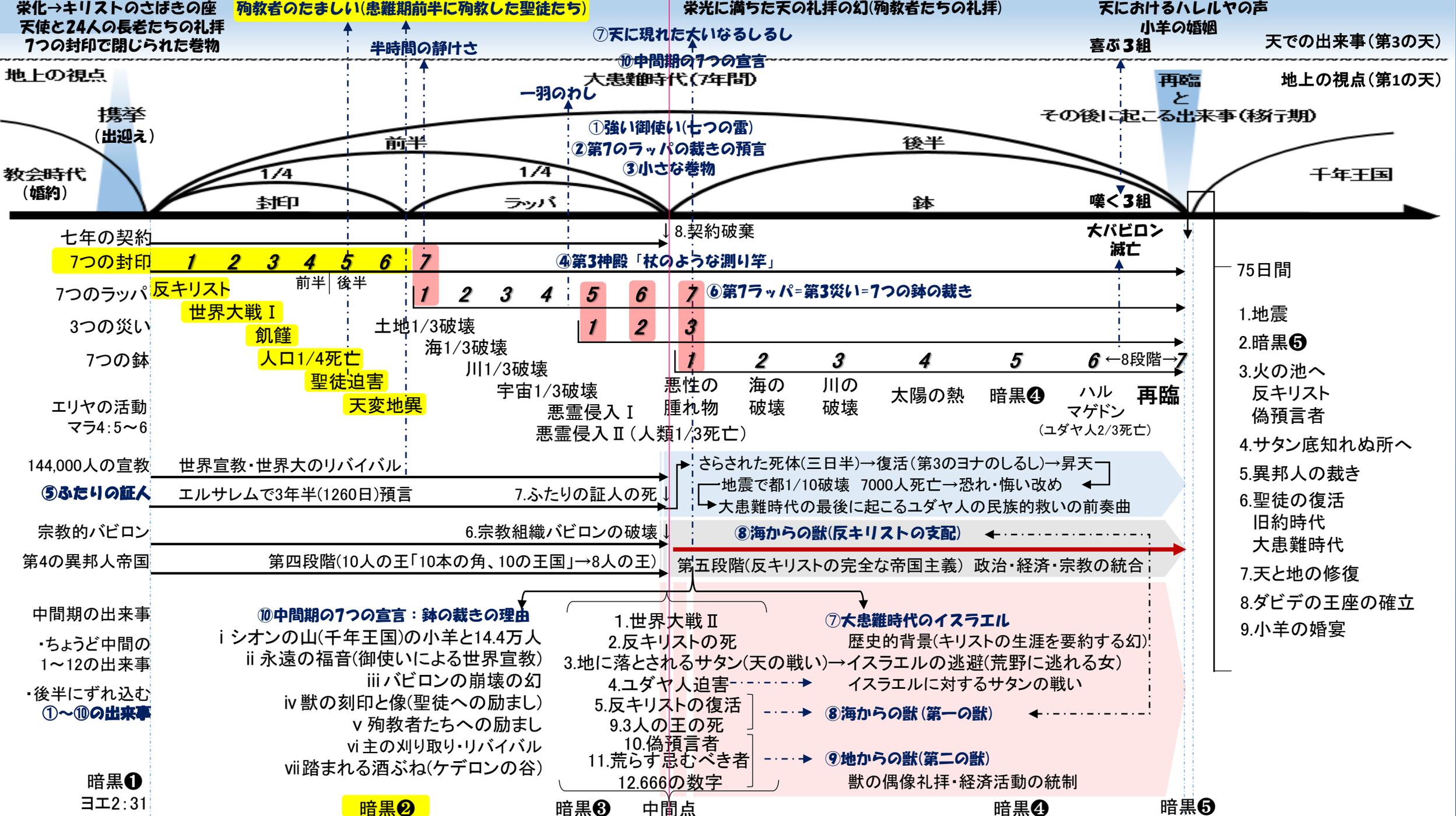
(ダニエル書12：7)

# 6章 封印の裁き

～大患難時代前半の「前1/4」の出来事～

**6章：大患難時代が始まる**

**巻物の封印が解かれる。最初の6つ封印**

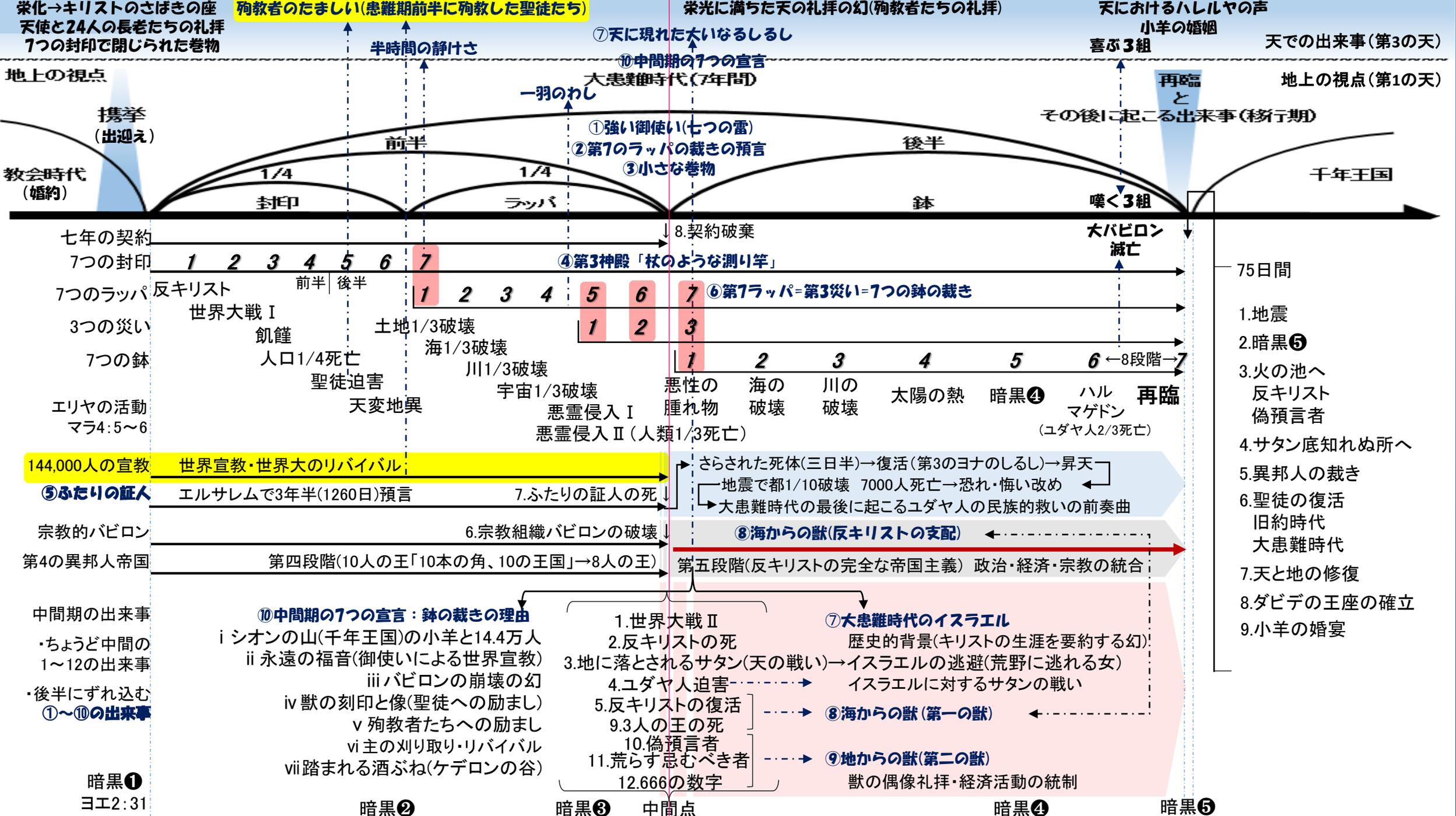


# 7章(挿入句) 前半のリバイバル

～大患難時代前半の3年半を通して起こる事～

**144,000人のユダヤ人による世界宣教**

**大患難時代の殉教者たち**



# 8章 ラッパの裁き

～大患難時代前半の「後1/4」の出来事～

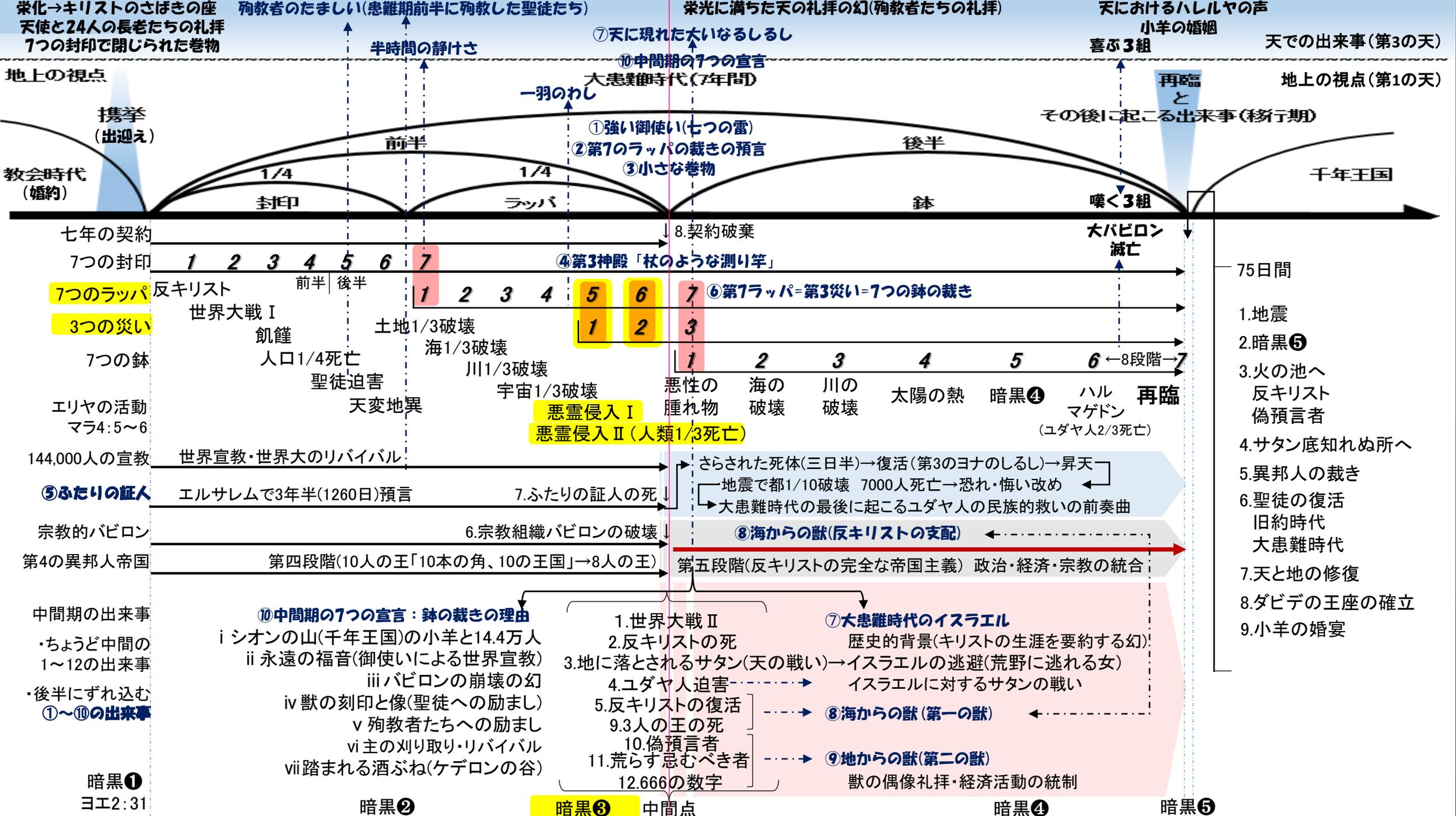
**8章は、前半の4つの裁き  
人類を取り巻く自然界への裁き**



# 9章 ラッパの裁き

～大患難時代前半の「後1/4」の出来事～

**9章は、第5・第6のラッパの裁き  
人類そのものに対する裁き**



# 死者の場所 (13 の用語)

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス ←

⑬新しいエルサレム ←

⑫天 (第三の天)

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

(第二の天)

(第一の天)

キリストの昇天

(地球)

①シオール (死者が行く場所) = ②ハデス(広義)

②ハデス (狭義)

③アバドン (固有名詞)

④よみの穴 (描写的言葉)

⑦地獄 (ヘブル語、ギリシア語にない)

⑤アビス

(墮天使を一時的に閉じ込める場所)

⑥タータラス

(創 6 章の墮天使)

⑩アブラハムのふところ  
(比喩的言葉)

⑪パラダイス

- ①シオール よみ (改)、陰府 (共)、陰府 (口)
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓 (ヨブ 33:18)
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、楽園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム (ガラ 4:26)

⑧ゲヘナ (Gei Hinnom が語源)

⑨火の池

(すべての失われた者の永遠の住み家)

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天 第2、第3の天や 地上に移動可能	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって得られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

# 10章 小さな巻物

～大患難時代の『ちょうど中間』の出来事～

苦難を通過する信者への励まし

「もうひとりの強い御使い」

「開かれた巻物」

# 今後の展望

～10章～14章は、挿入箇所(7章と同じ)～

物語の進展はなく、状況の説明が入る

例外は11：15～19（第7のラッパが吹かれる）

※この5節のみが本文

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

**7章は挿入句** ……→ (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

**巨大な挿入句** ……→ (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20) 11:15～19のみ本文

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

**巨大な挿入句** ……→ (4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

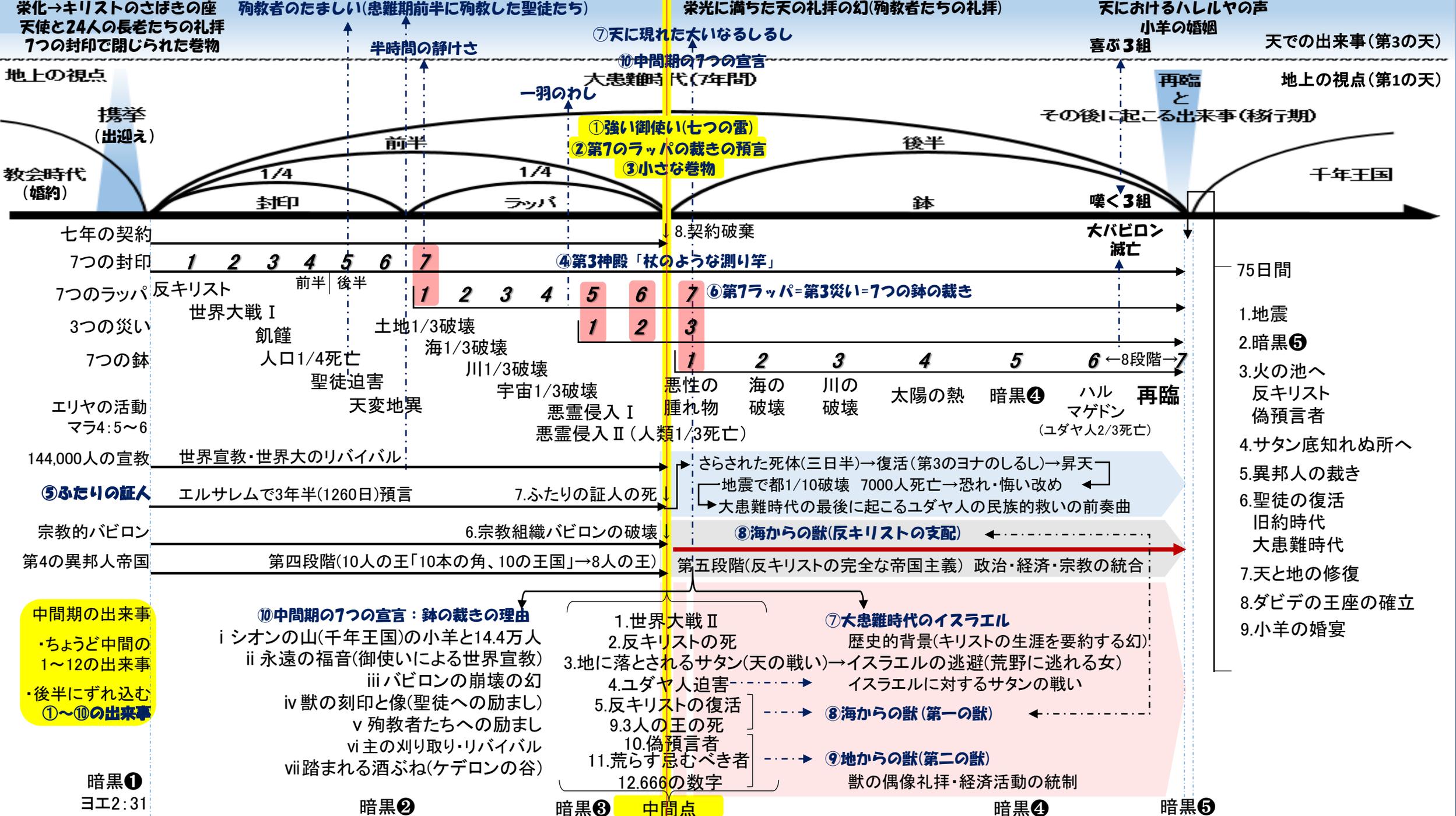
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)



**中間期の出来事**

- ・ちょうど中間の1~12の出来事
- ・後半にずれ込む①~⑩の出来事

**暗黒①**  
ヨエ2:31

**暗黒②**

**暗黒③** 中間点

**暗黒④**

**暗黒⑤**

- 75日間
- 1.地震
  - 2.暗黒⑤
  - 3.火の池へ反キリスト偽預言者
  - 4.サタン底知れぬ所へ
  - 5.異邦人の裁き
  - 6.聖徒の復活  
旧約時代  
大患難時代
  - 7.天と地の修復
  - 8.ダビデの王座の確立
  - 9.小羊の婚宴

# 11章 二人の証人の活動

～大患難時代の『ちょうど中間』の出来事～

～10章～14章は、挿入箇所(7章と同じ)～

**神の測り竿と第3神殿**

**ふたりの証人の活動期間と「死・復活・昇天」**

**第7のラッパ(11：15～19)**

**※この5節のみが本文**

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

**7章は挿入句** ……→ (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

**巨大な挿入句** ……→ (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20) 11:15～19のみ本文

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

**巨大な挿入句** ……→ (4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

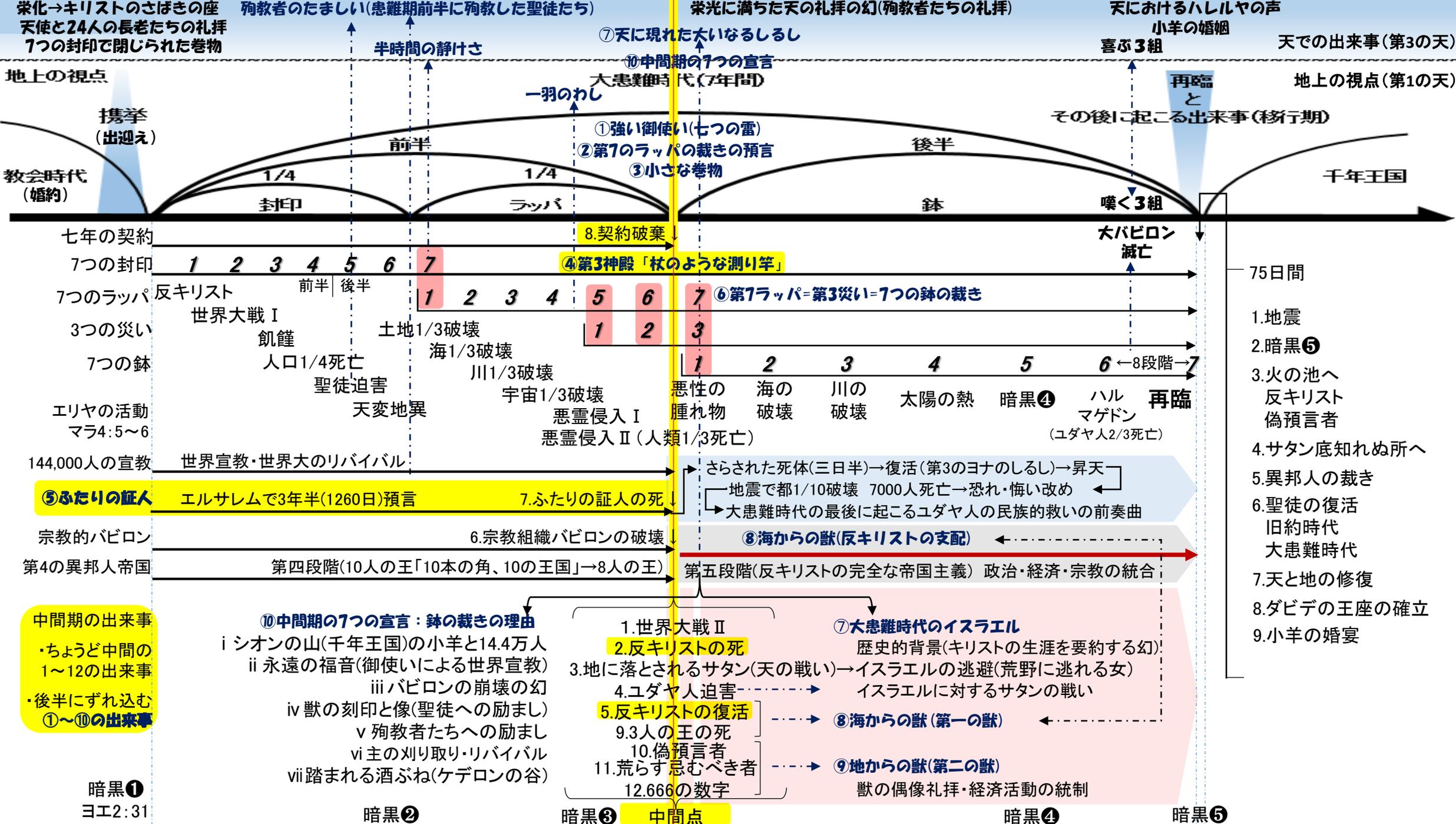
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)



**中間期の出来事**

- ・ちょうど中間の1~12の出来事
- ・後半にずれ込む①~⑩の出来事

- 1.地震
- 2.暗黒⑤
- 3.火の池へ反キリスト偽預言者
- 4.サタン底知れぬ所へ
- 5.異邦人の裁き
- 6.聖徒の復活 旧約時代 大患難時代
- 7.天と地の修復
- 8.ダビデの王座の確立
- 9.小羊の婚宴

# 死者の場所 (13 の用語)

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス ←

⑬新しいエルサレム ←

⑫天 (第三の天)

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

キリストの昇天

(第二の天)

(第一の天)

(地球)

①シオール (死者が行く場所) = ②ハデス(広義)

②ハデス (狭義)

③アバドン (固有名詞)

④よみの穴 (描写的言葉)

⑦地獄 (ヘブル語、ギリシア語にない)

⑤アビス

(墮天使を一時的に閉じ込める場所)

⑥タータラス

(創 6 章の墮天使)

⑩アブラハムのふところ  
(比喩的言葉)

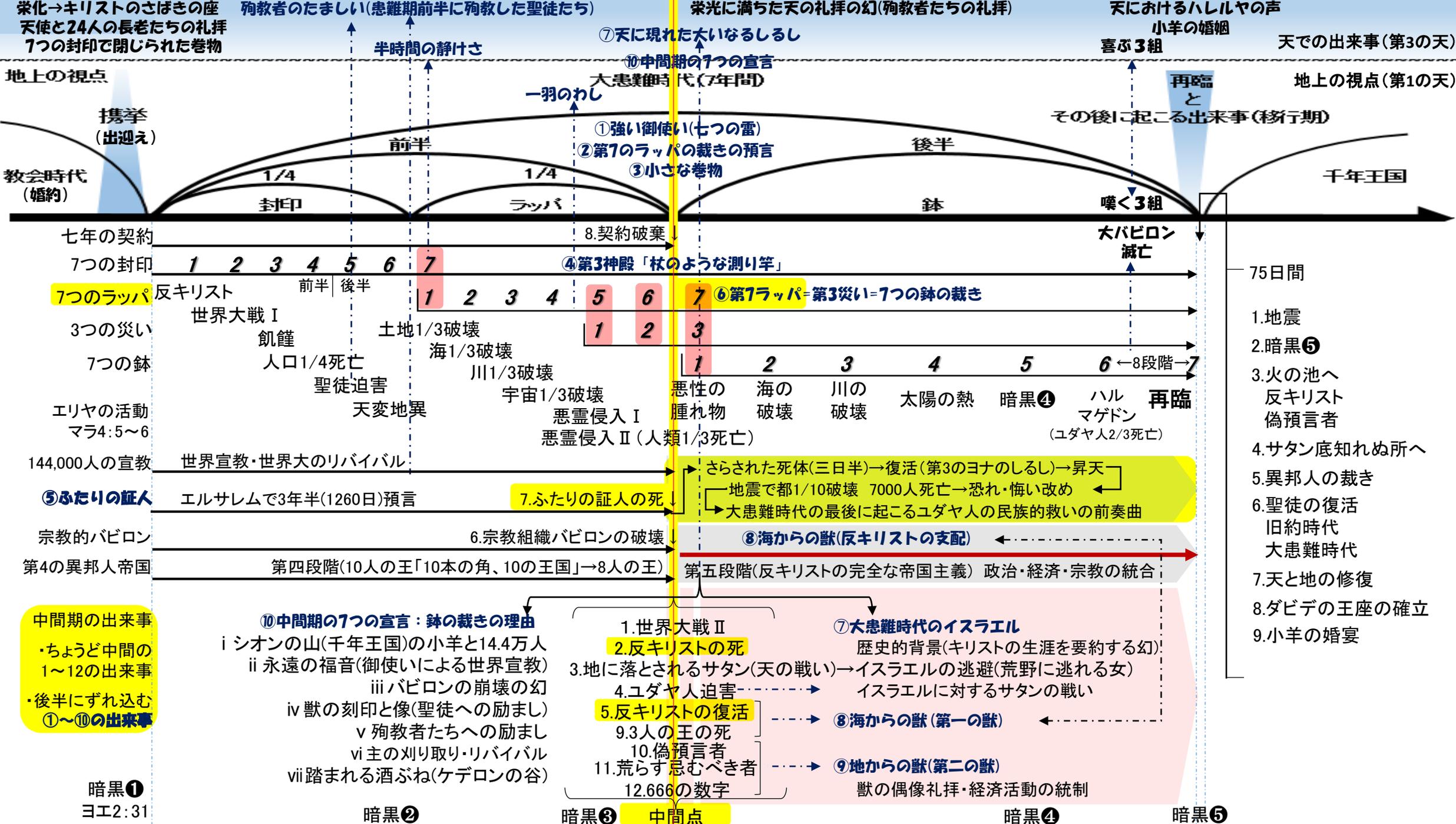
⑪パラダイス

- ①シオール よみ (改)、陰府 (共)、陰府 (口)
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓 (ヨブ 33:18)
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、楽園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム (ガラ 4:26)

⑧ゲヘナ (Gei Hinnom が語源)

⑨火の池

(すべての失われた者の永遠の住み家)



# 12章

## イスラエルに対する戦い

～サタンとイスラエルの戦いの歴史の振り返り～

～大患難時代に起こることの預言～

キリストの生涯を要約する幻

天における戦い

サタンによるユダヤ人迫害

# 7人の主役たち

～12-13章が最も多く象徴(シンボル)が登場する～

12章：前半

①ひとりの女：イスラエルの象徴

②赤い竜：サタンの象徴

③男の子：キリストの象徴

12章：後半

④ミカエル：天使長

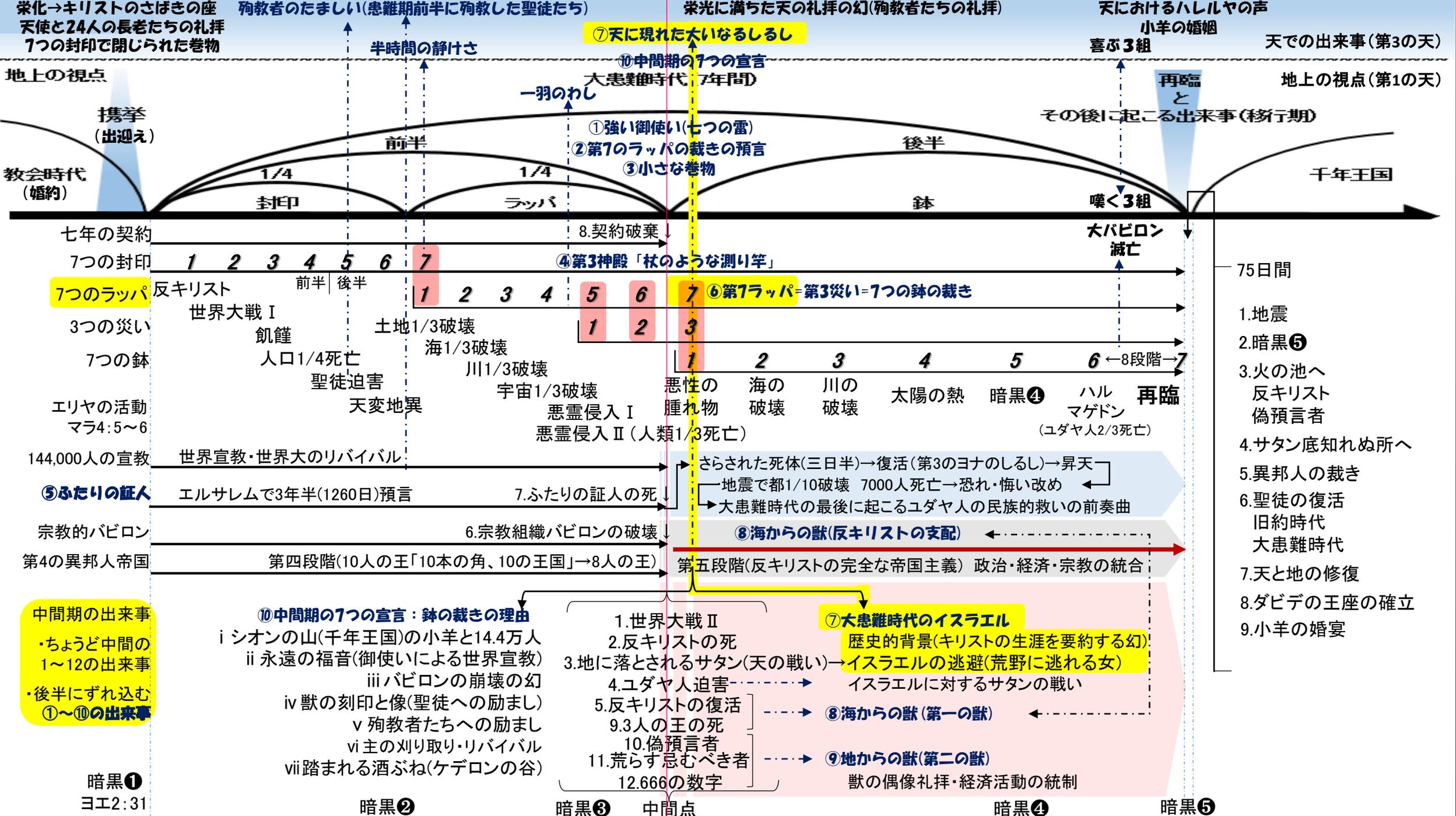
⑤女の子孫の残りの者：レムナント、真の信仰者たち

13章：前半

⑥海から上って来た獣：反キリスト

13章：後半

⑦地から上って来た獣：偽預言者



暗黒①  
ヨエ2:31

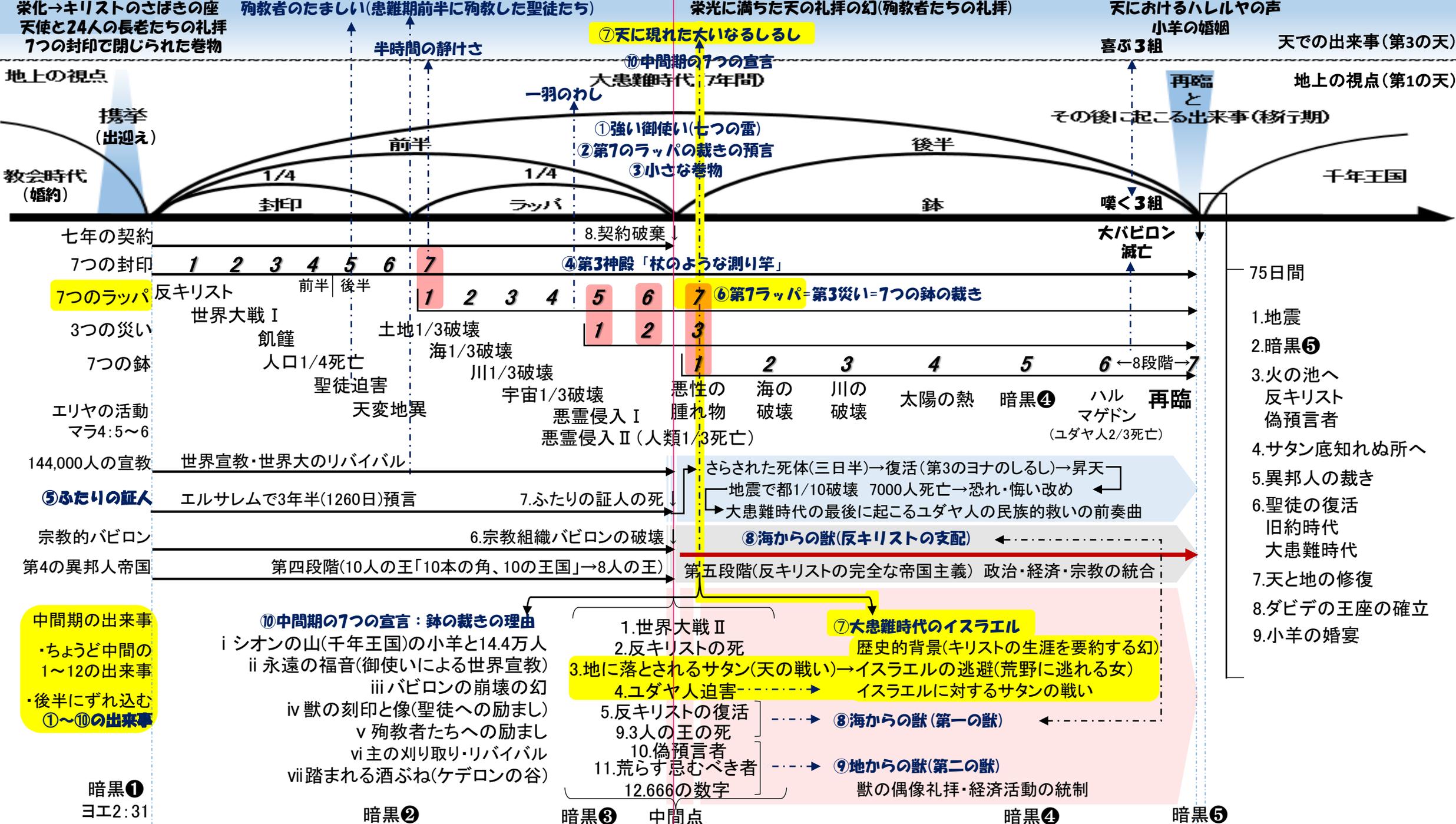
暗黒②

暗黒③

中間点

暗黒④

暗黒⑤



中間期の出来事  
 ・ちょうど中間の1~12の出来事  
 ・後半にずれ込む  
 ①~⑩の出来事

⑩ 中間期の7つの宣言: 鉢の裁きの理由

- シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人
- 永遠の福音(御使いによる世界宣教)
- バビロンの崩壊の幻
- 獣の刻印と像(聖徒への励まし)
- 殉教者たちへの励まし
- 主の刈り取り・リバイバル
- 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

⑦ 大患難時代のイスラエル

歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)

- 世界大戦Ⅱ
- 反キリストの死
- 地に落とされるサタン(天の戦い) → イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)
- ユダヤ人迫害 → イスラエルに対するサタンの戦い
- 反キリストの復活
9. 3人の王の死
10. 偽預言者
11. 荒らす忌むべき者
12. 666の数字

⑧ 海からの獣(第一の獣)

⑨ 地からの獣(第二の獣)

獣の偶像礼拝・経済活動の統制

- 75日間
- 地震
  - 暗黒⑤
  - 火の池へ反キリスト偽預言者
  - サタン底知れぬ所へ
  - 異邦人の裁き
  - 聖徒の復活  
旧約時代  
大患難時代
  - 天と地の修復
  - ダビデの王座の確立
  - 小羊の婚宴

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天 第2、第3の天や 地上に移動可能	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって得られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

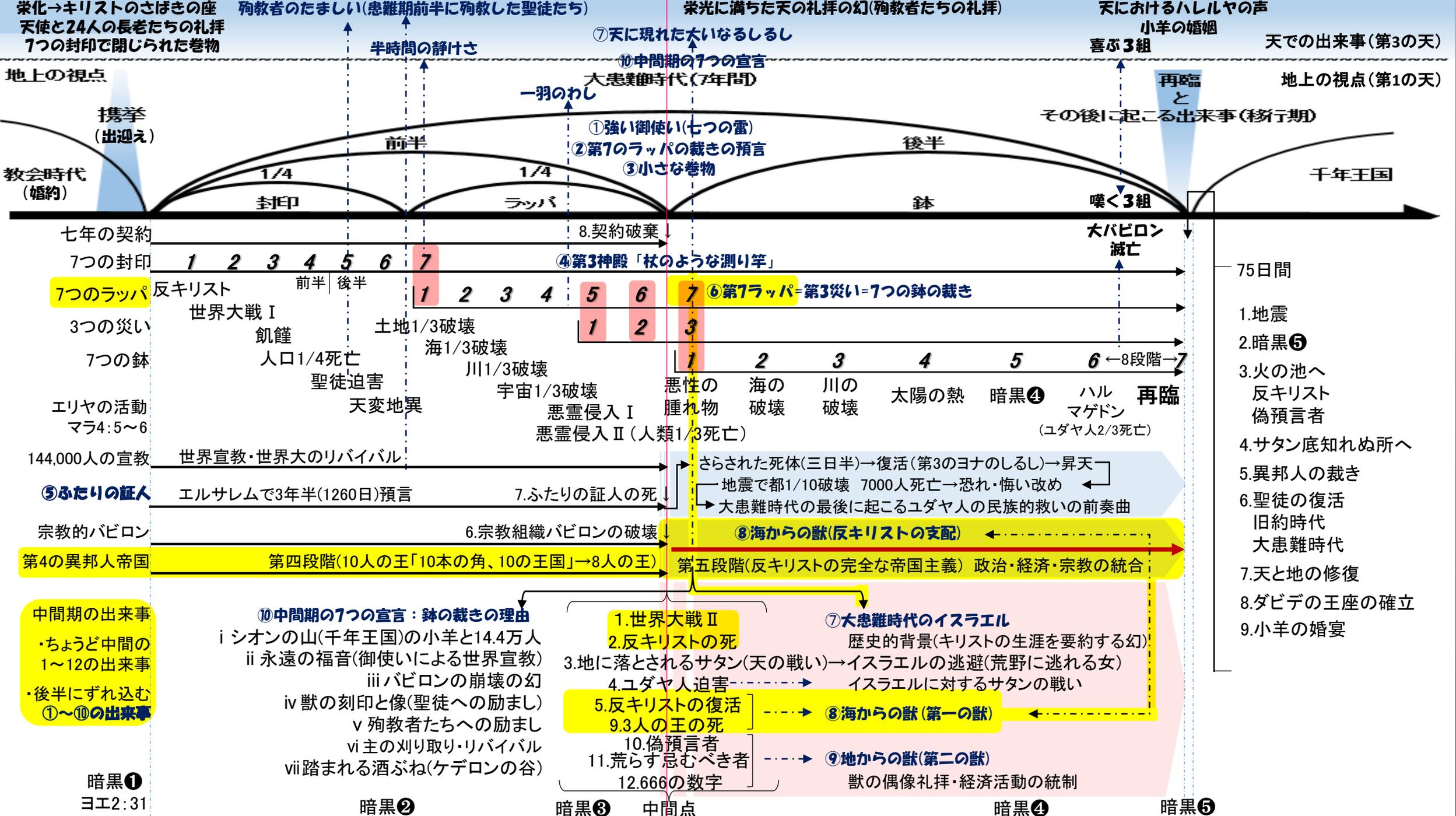
# 13章 海と地からの獣

～反キリストと偽預言者の働きについて～

海から上ってきた一匹の獣、反キリストの復活

地から上って来た獣、獣の像の礼拝

経済活動の統制、その数字は666



過去					現在の状態	将来	大患難時代前半	大患難時代後半	聖句箇所	
エジプト ?	アッシリヤ ?	異邦人帝国					<b>10本の角</b> 第四の異邦人帝国(獣) 帝国主義(帝国主義の5つの段階)			黙13: 1~10 黙17: 9~12
		第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	第1段階	第2段階				第3段階
		獅子のようで 鷲の翼	熊	ひょうのようで 4つの翼	大きな鉄のきばと10本の角					ダニ7: 7~12
		頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	すねは鉄、足は鉄と粘土					ダニ2: 40~43
		バビロン	メド・ペルシャ	ギリシア	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年~現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	<b>10本の角</b> とは、帝国主義の 第4段階における10人の王。 反キリストが <b>11番目の角</b> として 台頭し3本を倒し <b>8番目の角</b> で ありながら他7人を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上がってきます」 = <b>反キリストの復活</b> を意味する。 そして彼は二人の証人を殺す。 (黙11:7)		彼(反キリスト)が 来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する。 (獣の国)
第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	第6の頭 (山・王) (統治形態=帝国主義)		第7の頭(反キリスト) による完全な統治形態		ダニ7: 7~12 ダニ7: 19~27 ダニ9: 27 ダニ11: 36~45	
7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト?、アッシリヤ?、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシア) 現在(ローマ帝国=帝国主義) 将来(反キリストによる独裁)										

## 7つの頭

異邦人帝国										聖句箇所													
第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	第四の異邦人帝国(■) 帝国主義(帝国主義の5つの段階)							10本の角		黙13:1~10 黙17:9~12											
獅子のようで 鷲の翼	熊	ひよりのようで 4つの翼	大きな鉄のきぼと10本の角									ダニ7:7~12											
頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	すねは鉄、足は鉄と粘土									ダニ2:40~43											
過去			過去				現在	将来	大魚難時代前半	大魚難時代後半													
バビロン	メ・ベルシャ	ギリシア	古代ローマ共和国 統治形態					第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階											
			フトレマイオス	タルキソンの時代 (7人の王)	執政官 の時代	平民・独裁官 の時代	十人委員 の時代	三頭政治 の時代	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年~現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	10本の角とは、帝国主義の 第4段階における10人の王、 反キリストが11番目の角として 台頭し3本を倒し8番目の角で ありながら他7人を支配する。 「昔いたが、今はいません」。 しかし、やがて應知れぬ所から 上ってきます」 = 反キリストの復活を意味する。 そして彼は二人の証人を殺す。 (黙11:7)	彼(反キリスト)が 来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する。 (■の国)	黙12:1~5 黙13:1~10 黙17:9~12									
			セレウコス																				
			カッサンドロス																				ダニ7:7~12 ダニ7:19~27 ダニ9:27 ダニ11:36~45
			リュシマコス											第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	第6の頭 (山・王) (統治形態=帝国主義)		第7の頭(反キリスト) による完全な統治形態		
<p>7つの頭7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷)</p> <p>「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(古代ローマ共和国の5つの統治形態) 現在(ローマ帝国=帝国主義) 将来(反キリストによる独裁)</p>												7つの頭											



# 14章 天からの7つの宣言

～キリストの再臨の前に何が起こるか～

**10～14章は、挿入箇所**

**10～13章は、大患難時代の中間の出来事**

**15～16章は、大患難時代の後半3年半の出来事**

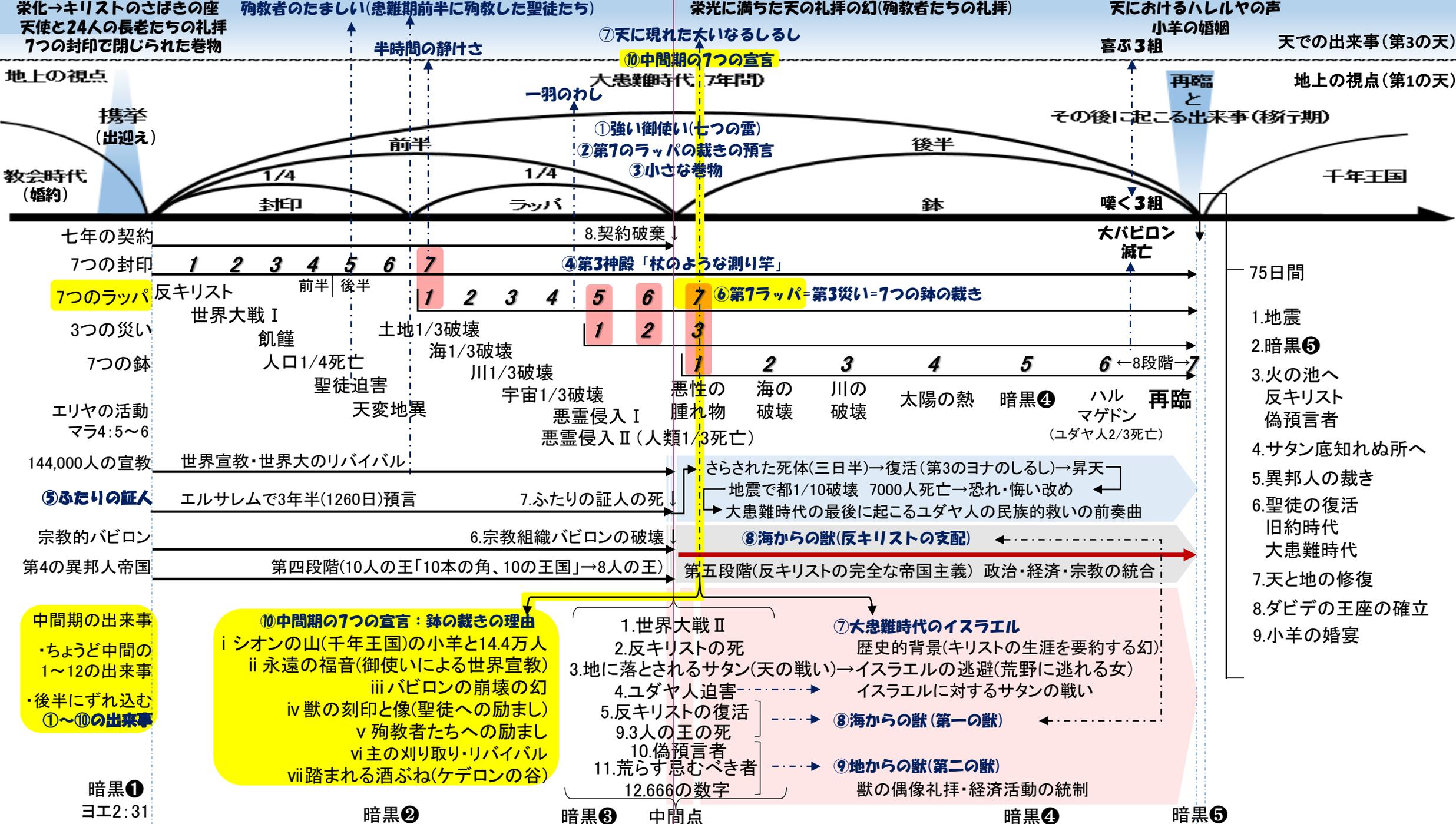
# 14章は「つなぎ役」

～ 10～13章と15～16章の「つなぎ役」～

中間期の出来事と後半の出来事の「つなぎ役」

14章の内容は、7つの宣言として出て来る。

未来完了形の宣言



**中間期の出来事**  
 ・ちょうど中間の1~12の出来事  
 ・後半にずれ込む①~⑩の出来事

**⑩中間期の7つの宣言：鉢の裁きの理由**

- i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人
- ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)
- iii バビロンの崩壊の幻
- iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)
- v 殉教者たちへの励まし
- vi 主の刈り取り・リバイバル
- vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

**⑦大患難時代のイスラエル**  
 歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)!

- 1.世界大戦Ⅱ
- 2.反キリストの死
- 3.地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)
- 4.ユダヤ人迫害
- 5.反キリストの復活
- 9.3人の王の死
- 10.偽預言者
- 11.荒らす忌むべき者
- 12.666の数字

**⑧海からの獣(第一の獣)**

**⑨地からの獣(第二の獣)**  
 獣の偶像礼拝・経済活動の統制

暗黒①  
ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③ 中間点

暗黒④

暗黒⑤

# 啓示の目的と内容について

～イスラエル抹殺の試みは、失敗に終わる～

- ①偽の三位一体の目的は、必ず失敗することを示す
- ②「鉢の裁き」(15～16章)の結果を示す
- ③大患難時代の後半を生きる聖徒への励まし

# アウトライン

## 14章：前半

① 第一の宣言：シオンの山の上の144,000人(1～5節)

② 第二の宣言：永遠の福音(6～7節)

③ 第三の宣言：バビロンの崩壊(8節)

## 14章：後半

④ 第四の宣言：獣を拝む者たち(9～11節)

⑤ 第五の宣言：聖徒たち(12～13節)

⑥ 第六の宣言：刈り取り(14～16節)

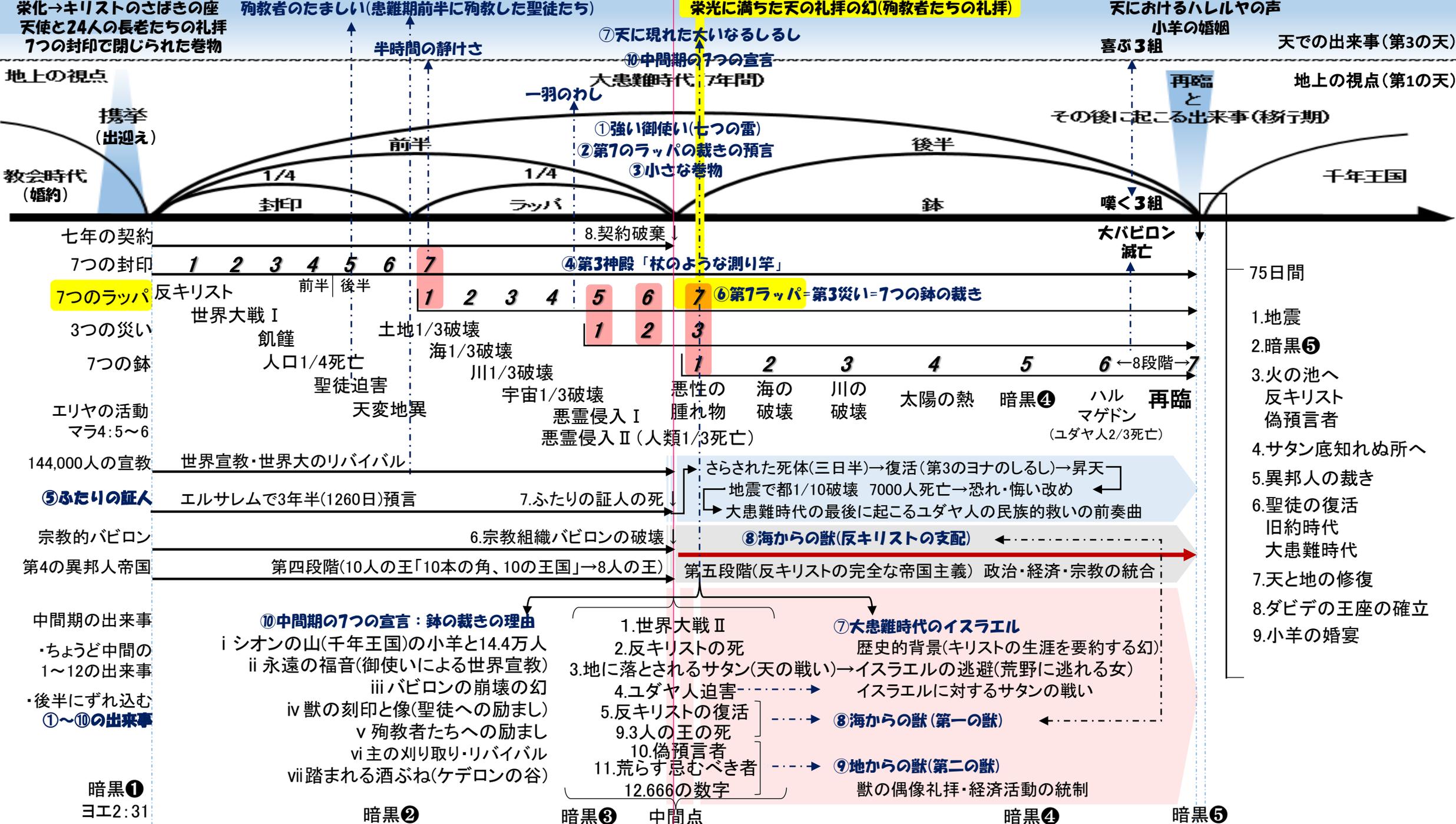
⑦ 第七の宣言：神の激しい怒り(17～20節)

# 15章 鉢のさばきへの前奏曲

～ 栄光に満ちた天の礼拝の幻 ～

第7のラツパの内容

殉教者たちの礼拝



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

**7章は挿入句** ……→ (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

**巨大な挿入句** ……→ (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20) 11:15～19のみ本文

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

**巨大な挿入句** ……→ (4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)